

福島教区報

教会数 98ヶ所
 布教所数 87ヶ所
 (R185.5月現在)

天理教福島教務支庁

〒960-8022 福島市新浜町7番26号
 TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404

「教区祭」に宮森与一郎・内統領先生をお招きし

4年ぶりに制限なしで開催

4月2日(日)、福島教務支庁で、宮森与一郎・内統領先生のご臨席をいただき、「立教186年教区祭」が執行されました。参加者の制限なしで開催されるのは4年ぶり、165名(内・少年会員23名)の参加者を得て賑やかに執行されました。

午前10時、雅楽の音が響く中、祭儀式が始まり、平澤勇一教区長が力強く祭文を奏上しました。続いて教区役職者や青年会・学生会・

女子青年、各支部と8交代でおつとめがつとめられました。

その後、宮森先生が記念講演を行いました。宮森先生は「それぞれにふさわしいちよつと成人した姿。これをやっていこうというのが今回の教祖140年祭」と年祭活動で目指すところを明示されました。そして、「私達の信仰は、日々の心の遣い方、日々の身の行い方であります。」「また、私達の信仰はおちばであります。おちばがたすかる元であります。」「おちばに心を繋いで、ひのきしんをし、この人、たすかつてもらいたいなあという心を遣う。ちよつとしたことでもいいんです。と、日々の通る上での心の置き所を、分かりやすくお話になりました。



なお、教区祭終了後、教務支庁の駐車場に移動採血車が来庁し、献血を実施しました。受付31名、採血者22名でした。

内統領・宮森与一郎先生記念講話 「年祭へ向かって」(要旨)

今は教祖140年祭に向かう三年千日のスタートを切った時です。その時にようぼくとして、また教会長、教会長の奥さんとして、それぞれにふさわしい姿があると思います。今日は皆さんと共にちよつと考えたいと思います。

私の両親は、教祖80年祭の前に、事情になっていた京都の山の中の教会の復興に行きました。2人で月次祭をしているというような教会でした。教祖90年祭前に『諭達』が出まして、教会内容の充実ということが主に書かれてありました。父は、これから3年間でおつとめの手を揃えるなんて無理だと思っていたそうであります。それでも真柱様が頼むからこれに努力をして欲しいと願ってくだされるんだから、できるかできないかは分からないけれど、3年間、言われる通りに、素直にそれに向けて努力をした。そうしたら、教祖90年祭の年に、うちの教会は初めて全部揃っておつとめすることができた。一生懸命やった結果、喜ばしてもらうのは、私達の方だった。そう聞か

せてくれました。

今度の『諭達』には、具体的なことは書いてありません。それぞれ1人が、教祖のお心にかなうように、ちよつと成人にさしていたかどうか書いてあるだけです。2代3代となつたり、また10年20年と信仰を続けていると、それなりの姿というのは必要になつてくると思います。それぞれにふさわしいちよつと成人した姿。これをやつていこうというのが今回の教祖140年祭です。

私の教会の信者さんで、なかなか人に対してお道のお話はできないけれども、近所の人に「今日は教会に行つて来るの。」とか、「今日は天理さんお参り行つて来んねん。」と伝えることができる女の人がいました。その人がある日、「会長さん、天理高校の入学願書、書いてください。」と言うんです。聞くと、未信仰家庭の中学生が、天理高校で吹奏楽をやりたいと訪ねてきたとのことです。その子は天理高校に合格をして、未信仰だったんですが、天理

高校の吹奏楽で、いろんなお道の人にお世話になって、熱心になってくれました。卒業後も教会に繋がってくれて、山口県へ嫁に行きました。子供が幼稚園ぐらいになり、近くの大きな教会で鼓笛隊の指導をして、自分の子供もそこへ入れて、鼓笛やりだしました。その子供達もだんだん大きくなって、今年の3月末の学生おちばがえりに、山口から帰ってきてくれました。

最初は、うちの教会の信者さんが、誰彼なしに「私はこうやって教会行つてるのよ。」「おちばへ参拝してんよ。」と言っていただけなんです。それが、今やそうやって子供までお道の信仰が伝わっている。だから小さなことがどんな大きなことになるか分かりません。皆さん、これから3年間通る毎日毎日の小さなことが、何になるとも分からないです。ですから、毎日毎日、ちよつとした声かけが大事だなど思います。

福井・石川の修理人として、1回だけ3月に行きました。行った先は、能登半島の先にある海岸べりの教会で、玄関先まで波のしづきが吹き付けてい

ました。雪はもう横殴りです。会長さんは80歳のおばあさん。お歳を召していても一生懸命の会長さんで、お話の後、お昼をよばれました。小鉢に海藻みたいなものが入っていました。聞いたら、この吹雪の最中に、冷たい日本海の海でその80歳の会長さんがこれを取ってきてくれた。今でもその教会は一番心に残っています。この真実に心を打たれたんですね。私達はそういうふうに関心を動かされていくというのがよく分かります。

教祖のひながたの道は、人の心をうって人の心を変えて、そしてたすけてくださったわけでありました。教祖ご自身が通られたような通り方を、私達もちよつと心がけて通ったらそれで良いと仰せ下されているのであります。

私の教会に、大阪から月次祭に参拝に来る40代の男性がいます。そのお母さんは教会に熱心に足を運びますが、お父さんは全然来ない。ところが、教会の側にも同じような家がありまして、その旦那さんは、天理の憩いの家へ診察に行つて、ついでに参拝して帰ってくる。両方とも同じ時期に胃

がんになりました。京都の方は、憩いの家に入院して手術、大阪の方は、大阪の大きな病院で手術となりました。憩いの家の方はおちばだから近いし、しよつちゅうおたすけに行つて、大阪の方は、「1日とにかく6回おさづけ取り次いでくれ。何でもいいから、神様に届くようなことを自分で決めてやってくれたらええ。」と言つて、その家に任せました。両方とも手術は成功しました。大阪の方は退院したらまずおちばに参拝して、その足で京都の教会へ参拝して、それから初めて大阪の家へ帰りました。京都の方は、いつの間にか自宅へ帰っていました。それで、京都の方は帰つてきて1ヶ月で出直しました。大阪の方は、それから教会に来て参拝するようになり、だんだん練習もして、小鼓も叩くようになって、10年間置いてもらいました。

私達の信仰は、日々の心の遣い方、日々の身の行い方でありました。神様は何を喜んでくださるのか。教祖はどうしたらにっこりとしてくださるかを心に置いて通らせていただく。これが大事なことであります。

また、私達の信仰はおちばであります。おちばがたすかる元であります。でも、福島から毎日おちばというのが無理であれば、教会で参拝させてもらいましょう。近くで、何か人のためのことをさせてもらいましょう。おちばにはなかなか種をまきに行けないから、近くで何か一つ種をまかしてもらいましょう。心はおちばへ繋がっています。

おちばにおわす教祖はどうしたら喜んでくださるだろうか。教祖だったらどんな気持ちで日々通られるだろうか。毎日毎日ちよつと心に置いて、一言の言葉を出す。一つのひのきしんをさせてもらう。そこに、珍しいたすけが現れてくる元があるんであります。おちばに心を繋いで、ひのきしんをし、この人、たすかってもらいたいなあという心を遣う。ちよつとしたことではないんであります。これだったら教祖も喜んでくれるかなと思つてやることはみんな繋がります。どうか自信を持つて、「教祖、見てください」という気持ちで日々お通りくださることをお願いいたします。

全教一斉ひのきデー

4 月 29 日（土・祝）、「立教 186 年全教一斉ひのきしんデー」が「成人の旬 一手一つにひのきしんく日々の実践につなげよう」をテーマに各地で実施されました。

教区管内はほぼ全域で好天に恵まれ、所によっては汗ばむほどの陽気となりました。その中、参加者は久しぶりに顔を合わせる教友と時折話

をしたりしながら、ゴミ拾いや除草、清掃などのひのきしんにいそしみました。

年祭活動 1 年目の年の最初の全教行事ということで、子供からお年を召した方まで、あちこちに勇んだ姿が見受けられました。この勇みの種を、それぞれに日々の実践に繋げていきましょう。
(Z・F)



いわき支部



郡山支部



会津支部

◎福島教区管内ひのきしん会場◎

福島	福島教務支庁	41名
安達	県立霞ヶ城公園	37名
郡山	猪苗代湖舟津浜湖水浴場	58名
田村	三春町歴史民俗資料館	23名
耶麻	猪苗代町内、お城山公園	10名
	熊野神社境内	7名
	桜ヶ丘公園	17名
	台の宮公園	8名
会津	会津若松市少年の家	62名
いわき	いわき市松ヶ岡公園	90名
相双	J R 新地駅	25名

(布教部提出分)

青年会

「東北ブロック大会in福島」に17名参加

5月3日(水)～4日(木)、磐梯青少年交流の家で「東北ブロック大会in福島」が開催され、44名(内・女性6名)が参加しました。福島教区からは17名の参加でした。



開講の後、福島教区長・平澤勇一先生よりお話をいただきました。記念撮影の後、グループに分かれて「すごろくトーク」を行いました。止まったマスのお題について話したり、他の人の話に質問したりしながら、お互いの信仰や考えなどを語り合いました。夕食・入浴後には交流会を行い、お互いの親睦を深めました。翌朝は、朝食の後、各部屋の片づけ・掃除をして解散となりました。



参加者からは「同じ東北に住む方々と交流ができて良かったです。」「信仰的に他の人の考えを聞いて、視野が少し広がりました。」との感想が聞かれました。(N・H)

教区総出ひのきしん

5月19日、教区総出ひのきしんが教務支庁で開催され、36名が参加しました。植木剪定や除草、屋内の清掃と勇んでひのきしんに励みました。



婦人会

「福島教区婦人会総会」開催

福島教区婦人 開催となりました。

会（平澤栄美主 任）では、6 月 3 日（土）、福

まず参加者全員で座りづとめ、十二下りのてをどり

を総立ちでつとめました。

島教務支庁で「福島教区婦人会総会」を開催し、婦人会員 45 名、男性 10 名、少年会員 6 名が参加しました。昨年は参加者を制限しましたが、今年は制限なしでの



式典では婦人会本部の「祝いのことば」を平澤主任が代読。続いて、平澤勇一教区長が祝辞を述べ、教祖 140 年祭に向けての三年千日の通り方として「神にもたれる心 陽気づくめの心 人をたすける心」の三つの心で日々をつとめ、教祖 140 年祭には自分が少しでも成人したことを教祖に報告できるよう、また「おつとめ おたすけ ひのきしん」を勇んでつとめるように話されました。

会務報告の後、平澤八重・田村支部主任が誓いの言葉を述べ、最後に婦人会歌を清聴しました。（E・H）

基礎講座

いわき支部会場で 17 名受講

6 月 18 日（日）、いわき市のラトブを会場に、今年

度 1 回目の「天理教基礎講座（福島会場）」（古関清人 事務局長）が開催され、17 名（内、初受講者 9 名）が受講しました。ビデオと講師・生江一行氏（新河沼分教会長）の自らの信仰体験



の受講者にも分かりやすい講話だと思えました」「先生の声が聞きやすくて、お道の素晴らしさを理解しました」「忘れかけていたことに気づかされました」など、好評の声が上がりました。

「今年度はあと 2 回開催予定となっております。にをいがけの一環として、たくさんの方々に足を運んでいただけたらと思っております。またお道を信仰されている方にも、改めて感じることや、勇みの種にご利用いただけたらと思っております。」（事務局より）

（K・K）

青年会

「子どもおぢばがえり特別ひのきしん隊

今年4年ぶりに「こどもおぢばがえり」が開催されるといふことで、

青年会では5月から8月にかけて、隊期が約1週間の「こどもおぢばがえり特別隊」を編成し、「こどもおぢばがえり」の準備・撤収のひのきしんを行っています。

福島教区青年会（平澤信行委員長）では、青年会新潟分会主導の「こどもおぢばがえり特別隊」に新潟教区青年会と共に協力して入隊し、6月16日（金）から23日（金）まで実動しました。福島教区からは2名の参

加でした。

「アチコチランド」「チャレンジパーク」「バラエティー186」の会場設営や、少年ひのきしん隊の宿舍清掃などの作業を、お互いに声をかけながら勇んで行いました。また、その他にも大裏での田植えやサツマイモ植えなどの農作業や、海外部周辺の草刈りなども行いました。

期間中は雨も少なく、順調に作業は進みました。30度を超える日もあり、暑い中でのひのきしんでしたが、元気に隊期を全うすることができました。

(Y・N)



福島支部

「みおしえ学習会」開催

福島支部（椿秀教支部長）では、6月4日（日）、福島教務支庁において、「みおしえ学習会」を開催

し、16名が参加しました。杉澤元和先生（若會分教会長）、佐久間雄大先生（東越分教会長）がファシリテーターをつとめました。

テーマは「十全の守護」で、和やかな雰囲気で行いました。「他の方の意見を聞くことで、自分では気付かなかつた親神様の十全のお働きをたくさん感じ取ることができました。」といった感想が聞かれました。

(Y・S)



立教186年 全教一斉にをいがけデー

ようぼく実動日 9月28日(木)、29日(金)、30(土)

～たすけの旬 成人の旬 さあ!にをいがけ～

教祖140年祭へ向かう三年千日の年祭活動1年目の年。

教祖にお喜びいただけるような「にをいがけデー」にしましょう。

ようぼく一斉活動日(第1回)

10月29日(日)

ようぼく一斉活動日は、同じ地域に住むようぼくが集い、思召に心を揃え、互いに勇ませ合ってともに年祭活動の歩みを進める日です。ようぼくは、毎回参加しましょう。

会場：全支部に会場が設けられます

成人塾

【日時】 7月22日(土)9時～15時

【会場】 猪苗代分教会

【対象】 小中学生

天理高校入試説明会

【日時】 7月23日(日)10時～

【会場】 福島教務支庁

学生会「高校生の集いまなびば」**少年会「おやこキャンプ」**

【日時】 8月18日(金)～19日(土)

【会場】 磐梯青少年交流の家

【費用】 500円

災救隊教区訓練

【日時】 8月30日(水)～31日(木)

【会場】 あだたら高原野営場

【内容】 草刈り

**おたすけのための
ひのきしんスクール**

【日時】 10月1日(日)

【会場】 福島教務支庁

【内容】 「カウンセリング

～聴くことの大切さ～」

少年ひのきしん隊本部練成会

【日時】 7月28日(金)～8月2日(水)

28日10:00 福島教務支庁集合

事前研修

12:00 福島教務支庁出発

22:00 天理到着予定

29日16:30 指定宿舎に集合・入隊

1日9:30 解隊、事後研修へ

2日朝 福島教務支庁着、解散

【参加費】 20,000円(支部助成含む)

【内容】 ひのきしん、おてふり、鳴物練習、
講話、行事参加など

天理教基礎講座(福島会場)

【日時】 9月3日(日)13時30分～

【会場】 福島テルサ(福島市)

【講師】 平澤勇一先生

【日時】 11月19日(日)13時30分～

【会場】 喜多方プラザ(喜多方市)

【講師】 杉澤元和先生

【受講御供】 500円

福島教区ホームページ 「天理教福島教区」で検索!

[Http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp](http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp)